

..... 編集後記

- ◆ 今月号は、特集「地質情報整備の現状と将来(その2)」原稿4編と一般投稿原稿6編です。一般投稿はシームレス地質図に関して1編、地下温度に関して2編、国際会議報告1編、英文ニュース誌レビュー1編、新刊紹介1編です。
- ◆ 宝田晋治さん他は、各種地質図をインターネット上でWebGIS技術を使って、自在に閲覧・検索・活用できる統合地質図データベースについて紹介しています。この報告をマニュアル代わりにしてURLにアクセスしてみてください。口絵もご参照下さい。
- ◆ 中村良介さん他は、産総研の地質分野・情報通信エレクトロニクス分野・環境エネルギー分野の緊密な連携のもとに進められている地球観測グリッドシステム(GEO Grid)について、具体的な応用事例をまじえて紹介しています。口絵もご参照下さい。
- ◆ 川畑大作さん他は、地理情報システム(GIS)を使った地球科学情報の共有化を目指して、Web-GISシステムを構築しました。これは新しい地球科学情報の速やかな発信に貢献します。
- ◆ 津野洋美さんは、一般ユーザーの立場から、実際に「20万分の1日本シームレス地質図」を使って判った不都合とそれに対する修正策を提案しています。大変貴重なご意見、ありがとうございます。
- ◆ 吉川敏之さんは、「シームレス地質図サポートページ」を立ち上げました。これは一般の方々在地質図を利用しやすいように解説したページです。きれいな図面を用いて判りやすく解説しています。口絵もご参照下さい。
- ◆ 内田洋平さんと後藤秀作さんは、地下温度の逆転現象が過去の気候変動を示唆していることと、濃

- 尾・関東平野での具体的観測事例を紹介しています。この研究では、地下深部からの熱伝導や地下水流動に伴う熱移流の影響を、いかに分離出来るかが鍵となります。
 - ◆ 後藤秀作さん他の報告は、上記の報告とペアとなるものです。半無限媒体を仮定して、地表面温度変化に起因する地下温度擾乱を数値計算する方法と、それを用いて計算した韓国南東部ウルサンでの事例が紹介されています。ここは熱移流の影響を受けていない地域ですので、地球温暖化を示す貴重なデータが得られました。
 - ◆ 奥山康子さん他は、ノルウェーで開催された地球温暖化ガス制御技術国際会議の様子を紹介しています。二酸化炭素の地中貯留では、物理的閉じこめと地化学的閉じこめの方法が在り、その閉じこめメカニズムをめぐって活発な議論がされているようです。
 - ◆ 高橋裕平さんは、「英文ニュース誌から話題を拾う」の2006年夏版を報告しています。「放射能汚染地下水」と「ナノテクで資源エネルギー革命」は興味深い話題でした。
 - ◆ 富樫茂子さんは、新刊本「日本の滝」を地質図幅のアウトカムの視点から紹介しています。
 - ◆ 地質ニュースのバックナンバーはURL (http://www.gs.jp/Pub/News/c_news.html) から、ご覧頂けます。現在、表紙と目次は1953年3月号から2006年5月号までの分が掲載されています。本文は1955年7月号から2002年12月号までの記事が、PDFファイルとしてご覧頂けます。
- (玉生志郎)

地質ニュース編集委員会
 委員長：玉生志郎
 副委員長：吉田朋弘
 委員：高木哲一・丸山 正・七山 太・
 光畑裕司・酒井 彰・高橋裕平
 連絡先：地質調査総合センター
 地質ニュース編集委員会事務局
 〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1
 Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746
 E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第626号	2006年	10月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
	2006年10月1日 発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2006 Geological Survey of Japan
 ●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。